

目次

〔巻頭言〕 土木技術者としての一反省……………山下博通…1
 大阪国際空港の整備……………山本栄造…2
 海上コンテナ荷役……………森文男…12
 高速道路における大規模機械化土工の実績……………津川宏志…23
 水陸両用ブルドーザの施工実績……………中野俊次…30
 水中ブルドーザの施工実績……………浅野茂夫…30
 伊丹康夫…35

グラビヤ——青函トンネルの近況

〔随想〕 サービス業 15年……………多田新二…39
 フィルダムのアスファルト遮水工法……………伊藤勤…41
 ディーゼルパイルハンマの消音器に関する研究……………中野有朋…48
 省力機械の使用例……………55

Construction Methods & Equipment より

建設工事用機械の新しい応用……………調査部会…70
 文献調査委員会
 道路施工上のアイデア（その3）……………調査部会…74
 文献調査委員会

〔建設機械化講座〕 第78回 現場フォアマンのための土木と施工法

XV. 海上工事

2. 作業船の選定……………運輸省第二港湾建設局…77

〔部会研究報告〕

鋼製仮設材の仮設損料算定基準……………調査部会…85
 建設機械損料
 調査委員会
 ダム工事中用仮設備機械損料諸数値の審議内容……………調査部会…89
 建設機械損料
 調査委員会

〔新機種紹介〕

SK 式自走式スクリュークリート……………逆瀬川清久…95
 長尺水平ドリリングマシン FS 400 形……………桜田稔…96

〔建設機械化研究所抄報〕

試験研究報告 (No. 57)……………建設機械化研究所…97

〔文献調査〕

大口径掘削機を用いたビルの基礎工事……………調査部会…100
 文献調査委員会
 ニューズ……………(編集部)…102
 会員消息……………104
 行事一覧……………105
 編集後記……………(長瀬・鈴木)…106

◇表紙写真説明◇

コマツ水陸両用ブルドーザ

株式会社 小松製作所

(株)小松製作所は昨年10月建設省関東地方建設局より京浜工事事務所管内での河床岩盤掘削・掘上げに使用する水陸両用ブルドーザの開発受注を受け、建設省の指導のもとに、去る3月、世界で初めての水陸両用ブルドーザを完成した。

本機は、陸上での作業は従来のブルドーザと同様に行なえるほか、水中での作業も可能にするもので、作業水深3m、岩盤のリップ作業および排土作業ができる。本機の完成により、河川での工事は従来のように作業現場において水をせきとめたり、減水・排土する作業工事の必要性がなくなり、また浚渫船、ポンプ等の器材が使用できないような浅い河川の掘削排土作業も可能となった。したがって今後の河川工事における施工法の進歩、工期のスピード化等に寄与する効果が大きく、このほか用水取入口のバイブ埋込工事、橋脚の基礎工事等の水中における土木工事に広く活用することができ、また今後、海洋資源開発機種の足がかりとしても大きな期待がかけられている。

写真は関東地方建設局管内の多摩川における河床掘削、押土作業の状況である。(本誌 30 頁参照)